

2019年2月15日

山大生・山大卒業生・山大教職員が公開で発表する 「修論卒論発表会（饗宴）」(第2回)を開催いたします

全体テーマ「『人間』を考える」

この会が山大で哲学・文学・芸術・宗教学を学んだ人たち、あるいは市民で哲学・文学・芸術・宗教学を愛好する人たちの生涯の発表の場になると共に、そういう方々の「哲学同窓会」の場になればと思います。地域が学生・教員・学者を育て、その研究成果を地域で共有し育てて行く。そのような仕方で地域に「哲学する」文化が育っていく。そんな夢が実現しつつあります。これはまた、かつて大学が市の中心にあったとき、市民が学生を愛し、学者を大切にし、見守った、そうした関係の再現を目指す、市民の側からの提案でもあります。

私たちがその身に生まれた「人間」。しかし私たちは自分が「人間」であることをあたり前のように思い、「人間とは何か」を問うことがなかったのではないのでしょうか。そうして目の前の目的の実現や目標の達成に忙しく、ただただ「人間であること」が過ぎ去ってきた。しかし悲しみも喜びも「人間」の身の上にかかることです。そこで私たちは問わざるを得ない、「人間とは何か」と。今回全体テーマを標記のように定め、皆さんと共に「人間」を考えて行きたいと思います。

加藤氏は「私と汝」から、大賀氏は「生きる意味」から、矢迫氏は「逃れられないものへの対峙」から、唐氏は「真の自己と偽我との関係」から、山中（旧姓植田）氏は「情念に酔いしれる人間」から、井上氏は「性的虐待と回復」から、田本氏は「脱中心としての学び」から、それぞれ「人間」に迫っていきます。

多数の御来場をお待ちしております。

開催日：2019(平成31)年3月2日(土曜日)

会場：菜香亭
山口市天花1-2-7(駐車場あり)

時刻：10:15 開会～16:45 閉会

費用：無料

主催：山口西田読書会

プログラム 全体テーマ「『人間』を考える」

発表20分、質疑応答25分

午前

10:00	開場
10:15	開会
10:20～11:05	加藤智之
11:05～11:50	大賀百合子
11:50～12:35	矢迫野乃佳
12:35～13:25	昼休憩

午後

13:25～14:10…………唐露

14:10～14:55…………山中翔
(旧姓植田)

14:55～15:10…………休憩

15:10～15:55…………井上瞳

15:55～16:40…………田本正一

16:45…………閉会

発表者と「タイトル」(参考文献、参考にした思想家) 登壇順

加藤智之

山口大学教育学部
社会科教育選修4年生

「私は私をどのようにして知るか
—私と他者の関係から考える—」
(西田幾多郎『私と汝』)

大賀百合子

山口大学教育学部
社会科教育選修4年生

「生きる意味はあるのか
—意味付けの世界と概念の探究—」
(ニーチェ、フランクフル)

矢迫野乃佳

山口大学教育学部
国語科教育選修4年生

「中島敦『古譚』論
-「逃れられないもの」への対峙-」
(中島敦『古譚』)

唐露

山口大学教育学研究科

『善の研究』における自己の問題
 - 眞の自己と偽我との関係をめぐって -
 (西田幾多郎『善の研究』)

山中翔 (旧姓植田)

広島大学教育学研究科
(山口大学教育学部卒)

「情念に酔いしれる人間ードナルド・トラ
ンプはなぜ人々を魅了するのかー」
(シャンタル・ムフ『左派ポピュリズムのた
めに』)

井上瞳

大阪大学大学院人間科学研究科
(山口大学人文学部卒)

「人間を考える
ー性的虐待と回復をめぐってー」
(ジュディス・ハーマン『心的外傷と回復』)

田本正一

山口大学教育学部教員(教育学)

「学校教育における主体的な学びについ
ての検討ー脱中心化としての学びへの
転換を目指してー」
(フーコー『監獄の誕生』、レイヴ、ウェン
ガー『状況に埋め込まれた学習』)

【総合司会】

佐野之人

山口大学教育学部(哲学)

【お問い合わせ】

山口西田読書会

電話:083-922-0753

電子メール: info@yamaguchi-nishida.org

担当:岡部

【所在地】

菜香亭

山口市天花1-2-7

(駐車場あり)

山口西田読書会

山口市下豎小路45番地

(以上)